

令和4年度 実施事業の概要

教育事業名: 令和4年度 自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成研修	
期間: 令和4年6月18日(土)～19日(日)	
対象及び参加人数: 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある方 22名	
<p>目的:</p> <p>全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者(NEAL)養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じ、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。</p>	
<p>事業概要:</p> <p>全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成カリキュラム」に則り、事業を実施し、22名が参加した。</p> <p>各講習は以下の通りである。</p> <p>【自然体験の特質】: 澤田 賢一 氏(NPO法人妙高山麗自然体験活動指導者会 理事、元環境省自然観察指導員)</p> <p>【対象者理解】【自然体験活動の指導】: 瀧 直也 氏(信州大学教育学部 准教授)</p> <p>【自然体験活動の安全管理】: 大澤 実 氏(株式会社アウトドアソリューション)</p> <p>【青少年教育における体験活動】: 小林 朋広(国立妙高青少年自然の家 所長)</p> <p>【自然体験活動の技術】: 成清 裕史(国立妙高青少年自然の家 係員)</p> <p>池田 果穂(国立妙高青少年自然の家 係員)</p>	
<p>成果:</p> <p>1泊2日でのタイトなスケジュールの研修だったが、参加者のアンケートからは、「実際のフィールドに出て体験しながら学ぶことができ、分かりやすかった」「参加者同士の話し合いやアイスブレイクを通して、指導者として役立つポイントを学ぶことができた」などの声があり、充実した研修内容となった。</p> <p>専門学校生や大学生、保育士、民宿業を営む方など様々な所属からの参加があり、多様性のあるグループワークができた。受講した内容を各自のフィールドに持ち帰り、それぞれの立場で実践につなげていける学びの場となった。</p>	
<p>【自然体験活動の特質】</p> <p>妙高戸隠連山国立公園に特化した講義後、ネイチャーゲームを行いながら植物の特性や自然体験活動の魅力について学ぶことができた。</p>	
<p>【対象者理解】</p> <p>指導者としての心構え、振る舞い、参加者の年齢や特徴などを理解しておくことの重要性について学んだ。また、アイスブレイクの活用法を体験することができた。</p>	
<p>【自然体験活動の安全管理】</p> <p>自然環境下での緊急事態への対応に特化した内容に変更した。それにより、自然体験活動に即した具体的なリスクマネジメントを学ぶことができた。また、コロナ禍の状況も踏まえ、基本的な救命措置方法や身近にあるロープや布などを使ってできる対応なども学ぶことができた。</p>	
<p>課題:</p> <p>得た資格を活用できる事業や活動の確保をする。</p>	